

1. 研究課題名

乳がん患者における化学療法施行時の予期性悪心嘔吐へ及ぼす頭皮冷却装置(PAXMAN)の影響に関する研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は、抗がん剤による脱毛の予防・軽減を目的に使用する PAXMAN が、冷却に伴う冷感刺激や締め付け感、拘束ストレス等により、治療前から予期性悪心・嘔吐の発現に及ぼす影響を、PAXMAN が導入された 2025 年 7 月前後と比較検討することを目的としています。研究期間は承認日から 2027 年 3 月までです。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は、2024 年 1 月から 2026 年 8 月の間に、周術期に化学療法を受けられた方の診療記録を利用して行います。利用する情報は、化学療法によって生じた悪心・嘔吐、頭痛などの副作用、追加された薬剤の種類、採血データなどで、利用を開始するのは、本研究が承認された日以降です。ただし、当センターでは個人情報に十分な配慮をしたうえで、誰の情報を提供したのか、後からでもわかるように管理をいたします。提供を開始するのは、本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター 薬剤部 立田 真也（研究責任者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 薬剤部 立田 真也